

青森県の休廃業・解散は 増加傾向

黒字企業の割合は約 50.9%に上昇

青森県・「休廃業・解散」動向調査(2025 年 1-8 月)



本件照会先

徳永 博一（支店長）
帝国データバンク
青森支店
TEL 017-776-5048
FAX 017-723-4414

発表日

2025/09/25

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2024 年の青森県の企業倒産件数(法的整理による)は 77 件、負債総額は約 132 億 3800 万円となり、倒産件数は 3 年連続で増加、2011 年以来の年 70 件台となった。また 2025 年の 1-8 月の累計倒産件数は 59 件で、前年同期と比較すると 8 件増(15.7%増)となっている。一方で、法的整理によらない廃業などの動向はどうなっているのか、帝国データバンク青森支店では、青森県企業の 2025 年 1-8 月における休廃業・解散件数およびその傾向などを調査・分析した。

株式会社帝国データバンクは、2025 年 1-8 月に発生した企業の休廃業・解散動向について調査・分析を行った。

- 帝国データバンクが調査・保有する企業データベースのほか、各種法人データベースを基に集計
- 「休廃業・解散企業」とは、倒産(法的整理)を除き、特段の手続きを取らずに企業活動が停止した状態を確認(休廃業)、もしくは商業登記等で解散(但し「みなし解散」を除く)を確認した企業の総称
- 調査時点での休廃業・解散状態を確認したもので、将来的な企業活動の再開を否定するものではない。また、休廃業・解散後に法的整理へ移行した場合は、倒産件数として再集計する場合もある

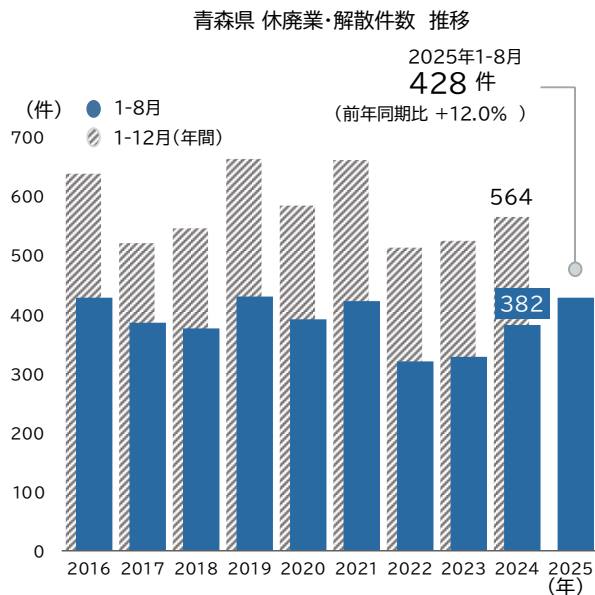
[注] X年の休廃業・解散率=X 年の休廃業・解散件数/(X-1)年 12 月時点企業数

1月～8月の休廃業・解散は青森県で428件となり前年同期比12.0%増加

2025年1-8月に青森県における休業や廃業、解散となった企業(個人事業主を含む)は428件(前年比12.0%増)判明した。同時点での倒産件数比は7.3倍となり、倒産件数の増加を背景に前年並みで推移している。

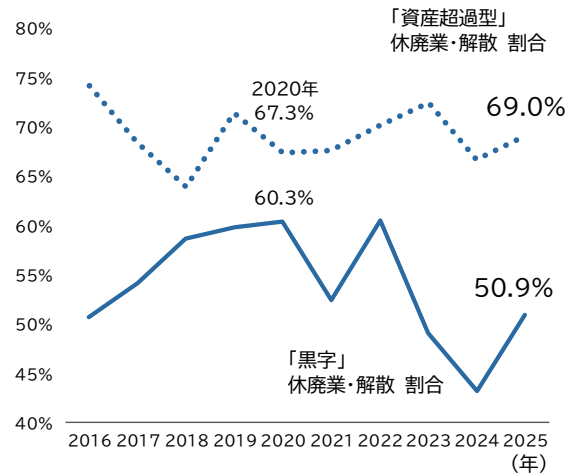
休廃業・解散した企業の業績をみると、2025年1-8月では、全体の50.9%が休廃業・解散する直前期の当期純損益が黒字であった。また資産超過の企業は全体の69.0%に達しており、後継者難、人件費や様々な経費増による先行き不安などから、何らかのリスクをとるよりは、周囲に迷惑をかけずに廃業を選択するといった「あきらめ型」あるいは「余力のあるうちの円満廃業」といった動きが認められる。

企業の休廃業・解散件数 推移



[注] 2025年は8月までの累計値

青森県「資産超過型」「黒字」休廃業・解散割合



[注1] 2025年は8月までの累計値

[注2] 黒字・赤字の判定は休廃業・解散直前の当期純損益(最新データ)に基づく

「代表者高齢化」は顕著、業種別では建設業がトップ

代表者年齢別では、2025年1-8月は70歳代での休廃業・解散が最も多く、全体の46.9%を占めた。また、休廃業・解散企業の代表者の平均年齢は72.86歳となった。休廃業・解散企業の代表者のピーク年齢は75歳となり、依然として休廃業・解散企業における経営者の高齢化は顕著となっている。業種が判明した中では「建設業」(103件)が最も多く、「小売業」(69件)、「サービス業」(64件)と続いており、特に「建設業」「小売業」については、前年同期(1-8月)と比較すると増加幅が大きくなっている。

代表者年代別・業種別の休廃業・解散動向

青森県 年代別割合 推移				青森県 業種別 推移												
単位:件																
2024年				2025年 (1-8月)				24年比								
休廃業・解散時 代表者平均年齢				71.18歳				72.86歳				+1.68歳				
休廃業・解散時 最多年齢層(ピーク年齢)				74歳				75歳				+1歳				
年代別	30代未満				0.3%				0.0%				△ 0.3			
	30代				0.3%				0.8%				+0.5			
	40代				3.6%				3.3%				△ 0.3			
	50代				9.2%				7.4%				△ 1.8			
	60代				19.6%				16.5%				△ 3.1			
	70代				46.7%				46.9%				+0.2			
	80代以上				20.3%				25.1%				+4.8			

[注] 「その他の産業」は、集計時点で業種が判然としない企業を含む

まとめ

青森県における 2025 年 1-8 月の休廃業・解散件数は 428 件となり、前年同期より 46 件の増加となった。全国的にも休廃業・解散件数は増加しており、2016 年以降で最多だった前年を上回り、初めて年 7 万件台に到達する可能性がある。

本県においても、黒字企業が休廃業・解散となる割合は増加しており、平常時であれば事業継続が可能ながら、経営者の高齢化、後継者難などの要因を背景として、やむなく事業をたたむ決断を下す企業が増えているとみられる。現状の推移でいくと、2025 年は前年を超える休廃業・解散件数となる可能性が高いと言える。